

原点回帰 ～理学療法士を育てる～

新人教育と臨床実習教育
における現状と問題点

(中央ブロック会員によるアンケート調査より)

アンケート実施要項

対 象：中央ブロック会員29施設
アンケート用紙を配布し、任意提出

期 間：平成 27年5～6月

回 収：150名分

アンケート調査票

※各施設何通でも構いません。たくさんの御意見をお願いします。

施設形態ならびにご自身について記入をお願いします。(複数回答可)

1. 施設形態 (急性期 ・ 回復期 ・ 維持期 ・ その他())

2. 所属PTの経験年数

①1年目(名)②2～5年目(名)③6～10年目(名)

④11～15年目(名)⑤16～20年(名) ⑥20年以上(名)

3. 臨床経験 (年)

4. 現施設での勤務年数 (年)

5. 臨床教育実習指導の経験

(現在担当している(年)・過去にある(年) ・ なし)

6. 新人教育の経験 (現在担当している(年)・過去にある(年)・なし)

7. 携わっている病期(急性期・回復期・維持期・その他())

8. 教育システム、プログラムがある (ある ・ なし)

なし とお答えいただいた方;(必要ない・必要とを感じるが取り組みがない)

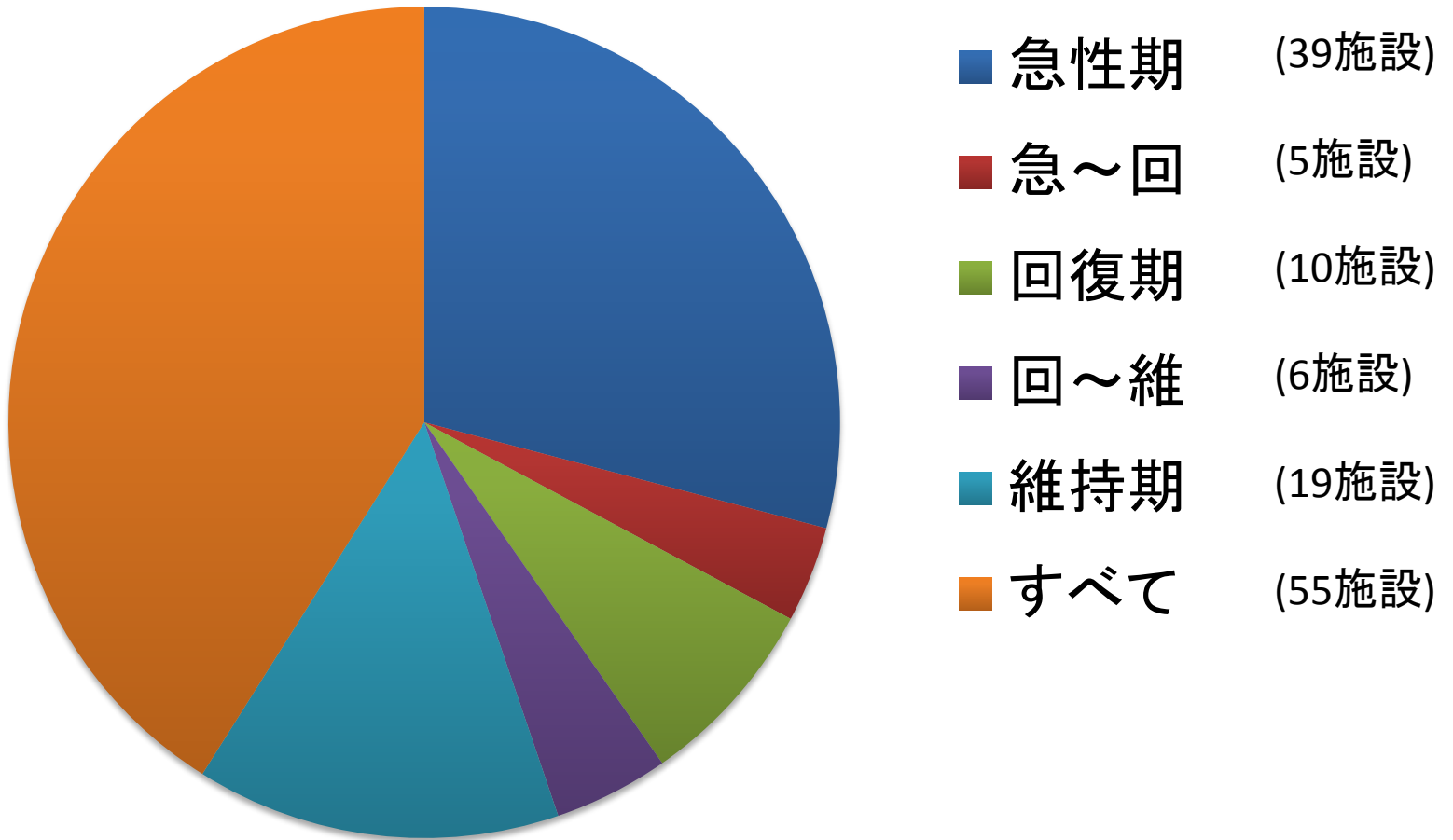
9. 貴施設での新人教育の取り組み(システム・プログラム)について

現状、研修期間(○ヶ月・○年間等) 研修内容(病院全体・科内等) 到達目標 等々

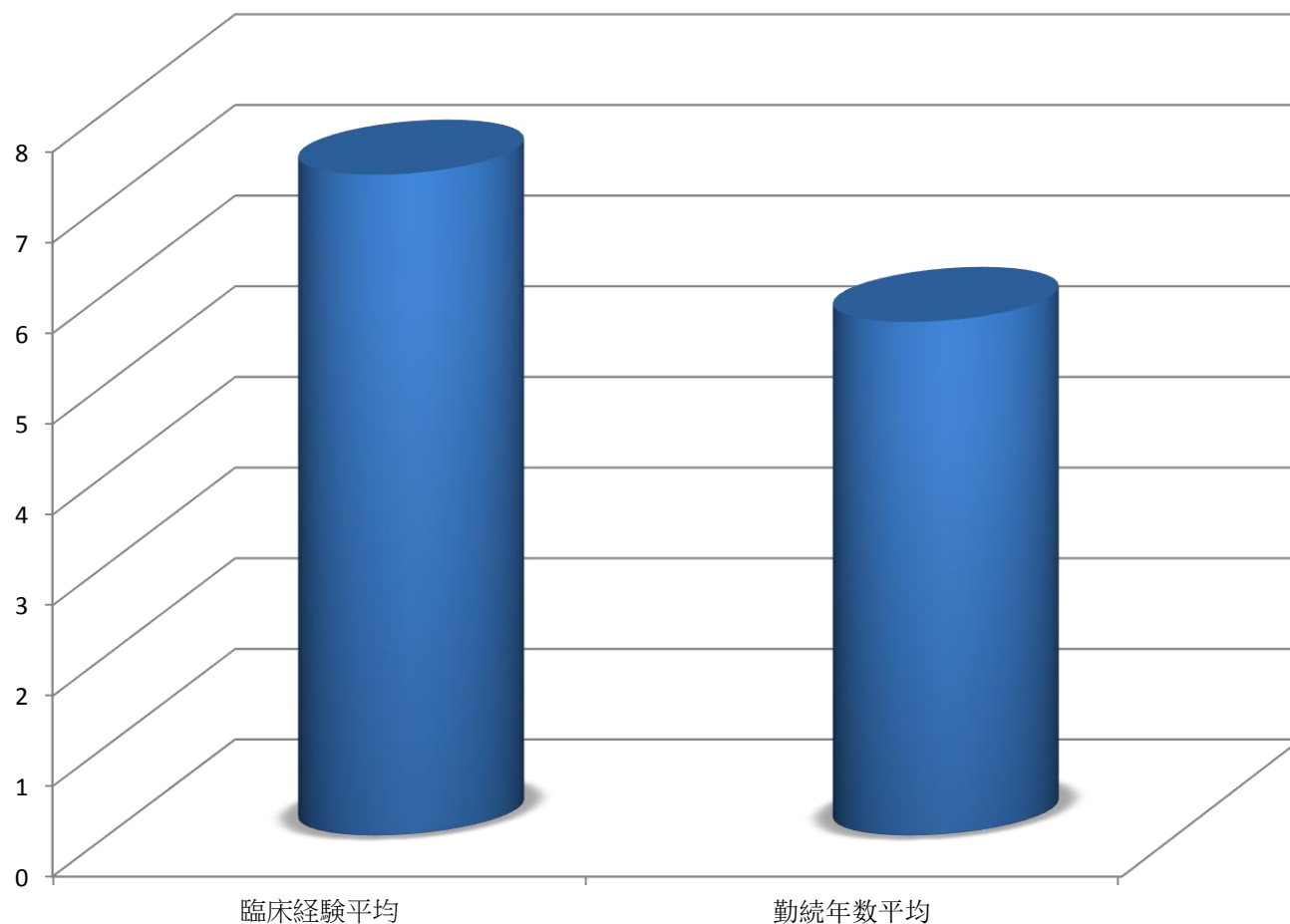
難渋している点、問題点と課題、なしの施設様は取り組もうと考えていること、他施設に尋ねたいこと

10. 臨床実習教育指導における問題点・養成校への質問 等 ご自由にお書きください
(指導者側の問題、学生に関する事、社会性・接遇・学習意欲・目的意識・情緒 等…)

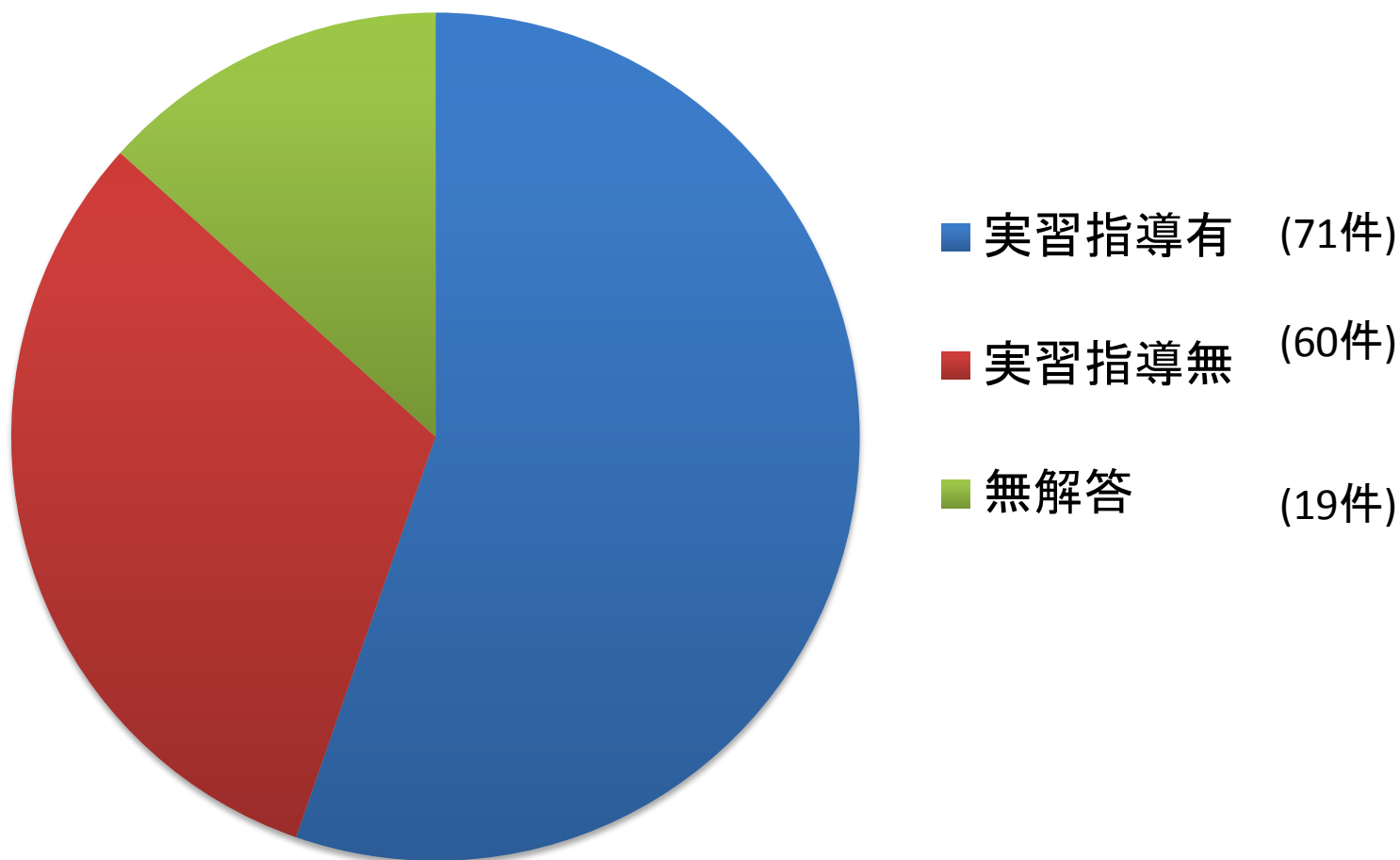
1.施設形態



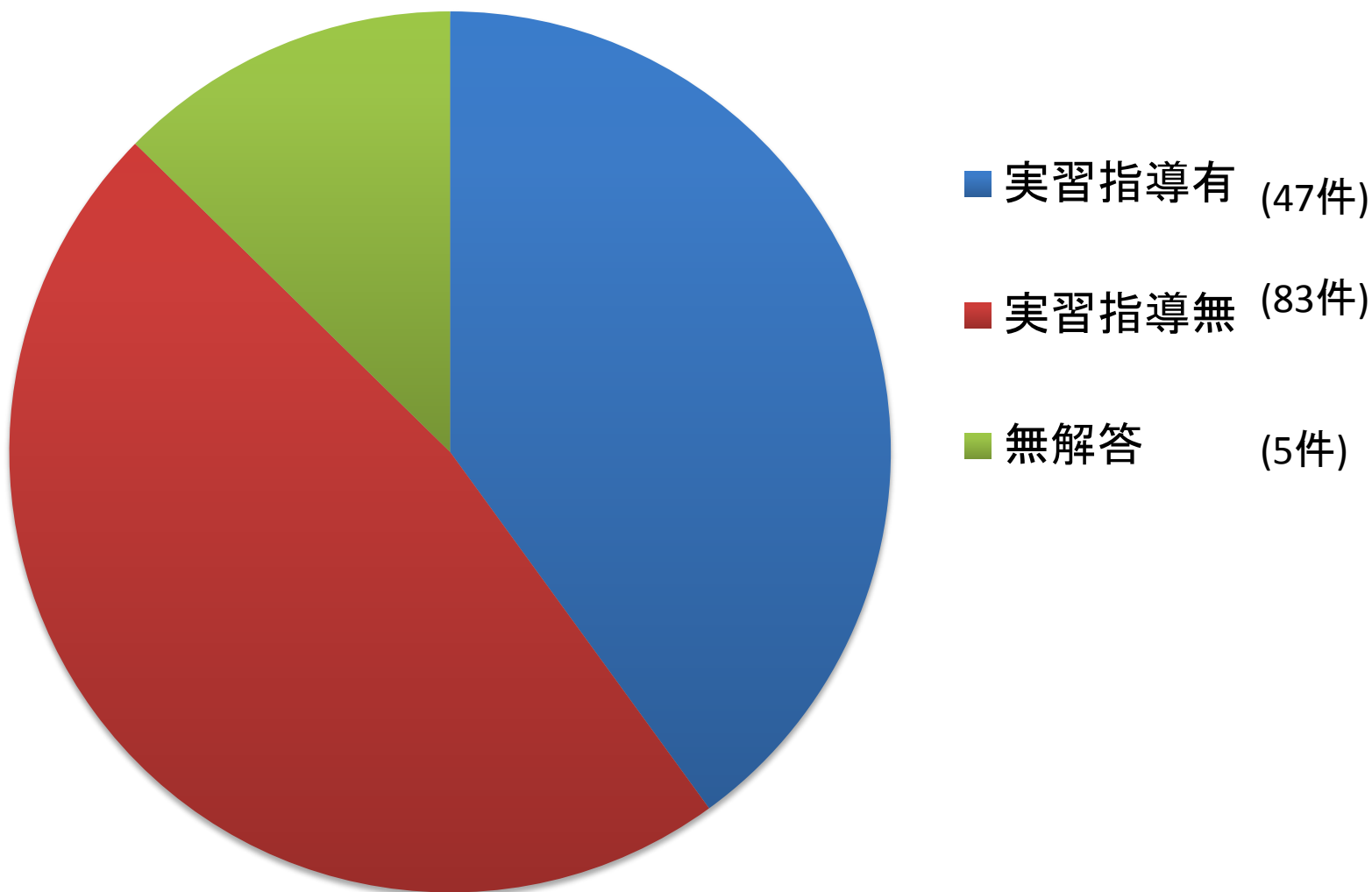
2.3.4.臨床経験・勤務年数



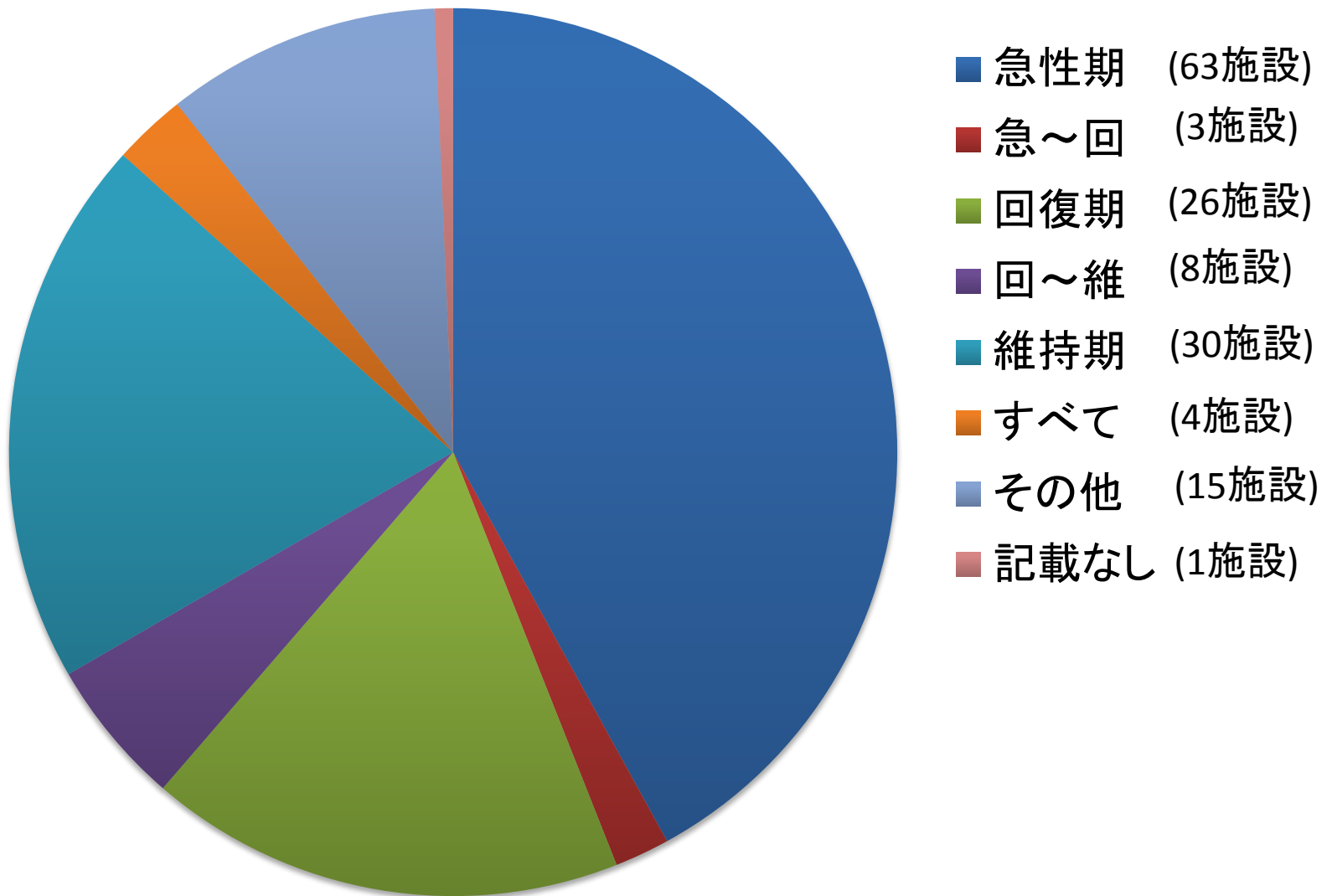
5.実習指導の経験



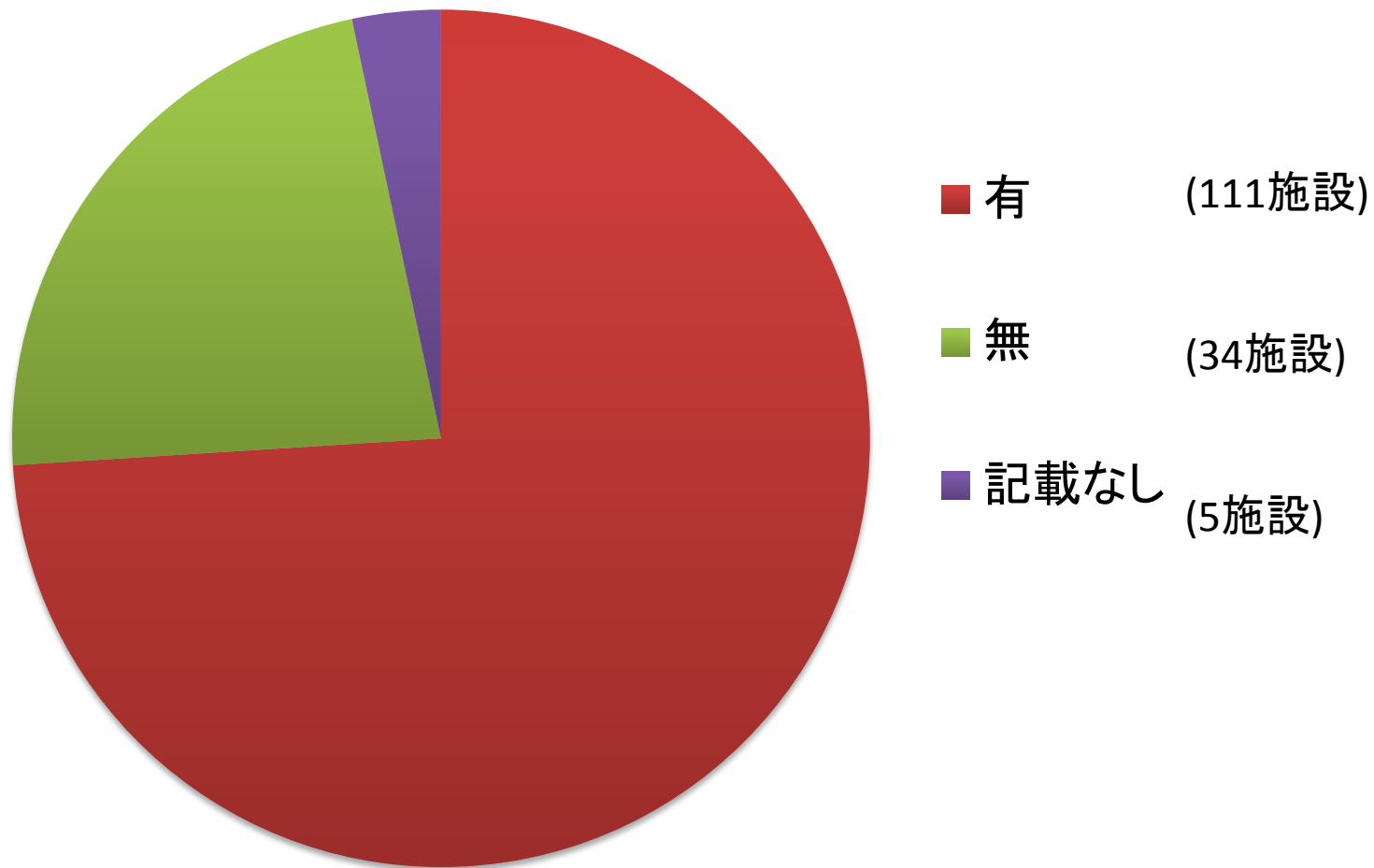
6.新人教育の経験



7.携わっている病期



8.教育システム・プログラムの有無



みなさまからのご意見（フリースペースでの回答）

9. 貴施設での新人教育の取り組み (システム・プログラム)について

教育システム有り

教育システム無し

双方の 現状・問題点 についてのご意見をまとめました

現状

①研修内容



病院全体での研修あり
(急性期)

他施設での研修制度あり
(併設老健、グループ内)
(急性期・維持期・その他; 9名)



勉強会は興味ある分野に参加している
(回復期)

②指導者の関わり方・目標設定



ブラザーシスター制度を導入
(急・回・維持; 25名)



担当制無し、全体で指導
(維持期)



年間スケジュールを立て、1年かけて最低限まで
(急性期: 2名)

半年間のスケジュールで
(急性期: 14名)





2ヶ月目から新患をみる(回復期)

指導者側がチェックシートを
作成している (回復期)



新人だけでなく、中堅クラスの
目標設定も行う (回復期)

評価～治療まで統一したマニュアルを
作成し、指導している (急性期: 14名)



進行具合をミーティングで随時確認する
(急性期: 14名)



1ヶ月ごと、3ヶ月、1年 節目に
個人面談を実施している
(急・回:15名)

指導内容が理解できているか
テストでチェック
(急性期)



③その他



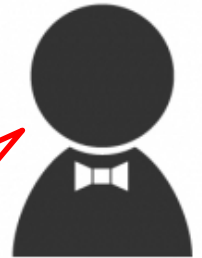
新人教育には極力関わらないようにしている
嫌われるのがいや (維持期)

問題点

①情緒・知識 等々



一人一人の意識に個人差がある
(急・維持:5名)



基礎的知識が不足している
(急性期)



コミュニケーション能力の
不足
(維持期)



メンタルが弱い
(急性期)

報告 連絡 相談がない
(急性期)



理学療法プログラムの根拠の理解に乏しい
(回復期)



診れる病期が偏る (病院の形態上)
(回復期)



②教育指導内容及び目標設定

教育システム有り 問題点



研修内容は業務的なものだけ
(回復期)

リスク管理などの研修が欲しい
(急性期)



課題、レポートの出し方が難しい
(急・回; 3名)

新人教育の最終目標は？期間は？
それぞれに差が出る場合は？
(急・回・維; 10名)





マニュアルが明確ではない
(急・維持・その他 ; 3名)

新人の理解度をどう判断するか？
(急・回 ; 3名)



マニュアル作成することで自主性・考える
ことが減っているか？ (急性期)

技術的な内容の指導をどのように
行うか？ (維持期)



③指導者側の問題点



指導内容の統一化が難しい
(回復期)

バイザー制度にすると指導に関わる者
と関わらない者に差が生じる
(急性期)



中堅クラスのステップアップシステムがない
(急性期)

新人教育は誰が中心となっている
のか？(回復期)





繰り返し指導の必要な後輩への指導方法は？
(維持期; 2名)

指導者側の質的向上も必要か
(回・維持; 2名)



④その他



新人の単位算定はどの程度が妥当か？
(回復期)

教育システム無し

教育システム無し 現状

- システム無しとお答えいただいた方の中で
- ①必要と思うが取り組みがない・・・21回答
 - ②必要ない・・・3回答
 - ③無回答・・・10回答

現状 取り組みがない理由 必要ではない理由



医療安全や感染対策、病院全体の新人教育のみ
リハ内でのシステムはない(その他:3名)

月1回の病院全体の研修のみ
その都度個別指導 (維持期)





3ヶ月、他院での研修制度（維持期）

余裕がない（維持期）



他を知らないのでも何とも言えない
新人教育の有無でその後差が出るか
（急性期）

現在PT業務ではない（その他）



疑問 システム有りの施設に聞きたいこと



目標値
段階付けが難しい
(維持期)

到達度の設定・判断
が難しい (回復期)



新人教育の概要を知りたい
かける時間や内容など (回・維持・その他; 10名)



自立して担当を
持つタイミングは
(維持期)

モチベーションを
上げるには どう対応
するか (回復期)



みなさまからのご意見（フリースペースでの回答）

10. 臨床実習教育指導における問題点、 養成校への質問

- ①学生の問題点
- ②受け入れ施設側の問題点
- ③養成校への要望、質問

①学生の問題点(情緒・知識等々)



意欲・積極性が
低い
(急・回・維; 21名)

基礎学力の低下
(急・維・そ; 10名)



資質面の問題 (挨拶・コミュニケーション能力)
(急・回・維・そ; 9名)



考えることが
苦手になっている
のでは
(維持期)

「習っていません」
などと平気で言う
(維持期)



②受け入れ施設側・指導者の問題点



指導者の指導力不足 差が出る
関わり方・指導方法など
(急・回・維:4名)

個人に合った指導法が難しい
統一化できない (急・回・維・そ:4名)



診れる病期に偏り
(維持期)



外来担当での指導は
困難 (回復期)



③養成校への要望、質問



養成校が実習施設に求めるものとは
(急・回・維・そ:5名)

実践を踏まえたカリキュラムを増やして欲しい
実技指導はどの程度指導しているか
(急・そ:3名)



実習の意義・目的の理解度が低い
(急・維:4名)

レポート、レジュメの作成、まとめ方は
学校で学ぶべき(急性期)





実習に出す見極めは(急・維:3名)

各実習に対する到達目標が具体的にありと良い
(回復期)



実習に不合格でも進級できるのは
いかがなものか(その他)

実習後の養成校・学生からの実習先
に対する意見が欲しい (維持期)



調査を終えて

アンケート結果 まとめは以上になります。
皆様のご意見をもとに、今回シンポジウムでの
トークテーマを選んでみました。

「理学療法士を育てる」ために

もう一度、育てる側として ひとりひとりができること
を一緒に考えてみませんか。